

社会の動き

- 5月 学校教育法改正（教頭法制化）
- 7月 参議院選挙で企業ぐるみ選挙が問題化
- 8月 ウォーターゲート事件でニクソン辞任
- 10月 田中首相金脈問題表面化（11月辞任）
- 企業の買い占め、便乗値上げが問題化
- 戦後初のマイナス成長、狂乱物価
- 3月 山陽新幹線全通、東京～博多間が直通
（「ひかり」で6時間56分）

..... 岡 崎

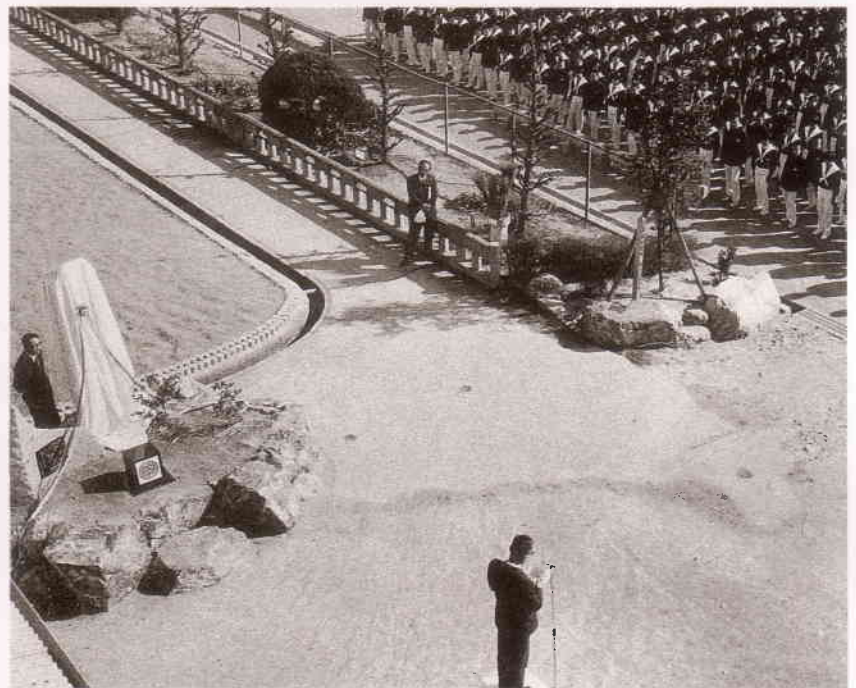
- 4月 公害調査センター設置
身体障害者福祉モデル都市に指定
- 5月 総合福祉センターオープン
- 6月 真宮遺跡の発掘調査が始まる
- 7月 仁木浄水場が完成
粗大ごみの収集開始
- 11月 葵大橋が完成
第1回岡崎市農業祭
第1回岡崎市子どもまつり開催
- 3月 衛生センター尿尿処理場増設工事完工
志賀重昂の銅像、東公園に建立
市の鳥を「ハクセキレイ」に定める

学校の沿革

- 4. 21 さくら祭り協賛スポーツ大会
- 5. 13 修学旅行
- 5. 19 美合駅清掃奉仕（生徒会）
- 6. 2 中学校総合体育大会
- 7. 10 山の学習
- 9. 29 運動会
- 10. 27 新人総合体育大会
バスケット男子優勝、女子準優勝
- 11. 16 文化祭（～17）
- 12. 6 劇団ロシナンテ鑑賞
- 12. 12 「立志の塔」建立
- 12. 15 男川駅清掃奉仕（生徒会）
- 2. 3 「立志の塔」除幕式



立志の誓いのことば



立志の塔除幕式



現在の立志の塔



建立された立志の塔



第8代 糟谷正孝 校長
(昭和50.4.1～昭和52.3.31)

社会の動き

- 4月 ヴェトナム解放勢力、サイゴンを解放
ヴェトナム戦争の終結
- 7月 全欧安保協力会議
(CSCE～8.1)
- 10月 天皇、初の公式会見
「原爆投下は戦時中でやむを得なかつた」と発言
- 11月 第1回サミット
公労協のスト権奪還スト、国鉄全線が運休
- 2月 ロッキード事件表面化
(7.27田中首相逮捕)

岡崎

- 4月 緑丘小学校開校
県立岡崎東高等学校開校
愛教大跡地に国立分子科学研究所創設
- 5月 西三河消費生活センターが明大寺町に開所
本多光太郎の銅像、市民会館前に建立
- 8月 移動図書館みどり号スタート
- 9月 名古屋法務局岡崎支局、三崎町に開設
- 10月 国勢調査実施
(人口234,510人)

学校の沿革

- 6.4 視聴覚教室設置
- 6.8 男子バスケットボール県大会3位
- 9.5 ゴミ焼却炉設置
- 9.27 グランドピアノ設置
- 10.28 市委嘱クラブ活動研究発表
参加 200人
- 10.30 ハンドボール西三大会優勝
- 3.10 「青雲の志」卒業記念
神谷葵水氏揮毫
- 3.23 正門西角 岩組み作業
- 3.24 「足助風景」服部正臣氏寄贈



授業風景 (科学)

生活経験を豊かにする

クラブ活動研究発表会



研究発表



授業風景 (ギター)



授業風景 (木工)

第30回 1976
昭和51年度

社会の動き

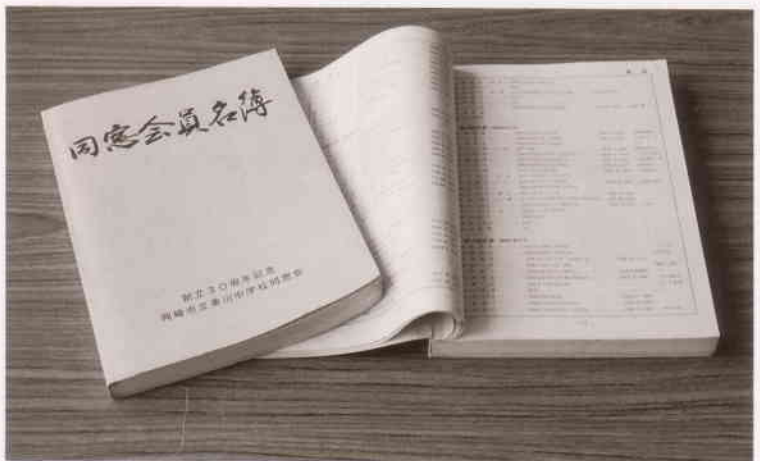
- 9月 毛沢東死去
77. 8. 12文化大革命終結宣言
- 11月 軍事予算をGNPの1%以内とすることを決定
- 岡 崎
- 4月 大門小学校、竜美丘小学校開校
六ツ美市民センター開館
岡多線の岡崎～新豊田間19.5km、1日13往復の旅客営業開始
- 5月 岡崎市斎場完成
- 7月 岡崎市体育館完工（市制60周年記念事業）
岡崎市城北会館開館
- 9月 才栗町の岡崎墓園と斎場を「やすらぎ公園」と命名
- 11月 菅生町出身の遺伝学者木村資生博士文化勲章受賞
岡崎商工会議所完成
- 12月 北野廃寺跡の歴史公園整備起工
- 2月 全国学校緑化コンクールで連尺小が日本一に
- 3月 岡崎市新総合計画策定
稲熊町に石の公園団地完工
岡崎小学校移転完工

学校の沿革

- 6. 16 緑化植樹作業 さつき1,000本
- 7. 9 学校緑化のための石組み（西側ブル進入路）
- 7. 14 緑化植樹作業 つつじ200本
- 8. 8 2年山の学習（県民の森）
- 10. 12 「緑化の碑」完成
糟谷校長揮毫
- 11. 16 文学碑（俳句・短歌）12面建立
- 1. 5 美川中30周年記念同窓会総会
「創造の碑」建立
糟谷校長揮毫



創造の碑



30周年記念同窓会名簿



山の学習（愛知県民の森）



文学碑建立



中村草田男の句碑 「冬の水 一枝の影も 欺かず」



河東碧梧桐の句碑 「赤い椿 白い椿と 落ちにけり」



飯田蛇笏の句碑 「くろがねの 秋の風鈴 鳴りにけり」



与謝野晶子の歌碑

「海恋し 潮の遠鳴り かぞへては
少女となりし 父母の家」



高浜虚子の句碑 「金亀虫 擲つ間の 深さかな」



伊藤佐千夫の歌碑

「おり立ちて 今朝の寒さを 驚きぬ
露しとすと、 柿の落葉深く」



第9代 石川 博 校長
(昭和52.4.1～昭和54.3.31)

社会の動き

- 5月 共通一次試験にむけ大学入試センター発足
- 7月 小中学校学習指導要領改訂、「ゆとりある教育」「君が代」国歌化を打ち出す
- 9月 日航機ハイジャック事件で超法規的措置
- 12月 日韓地下鉄癒着が明らかになる
- 岡 崎
- 4月 城南小学校開校
岩津市民センター開館
- 5月 国立生物科学総合研究機構（基礎生物学研究所・生理学研究所）が創設
須淵町に少年自然の家が開所
- 9月 新編岡崎市史編さん事業始まる
- 11月 市立岡崎病院新館が完工

学校の沿革

- 5. 14 修学旅行（～16）
- 10. 2 新学制30周年秋季運動会
バザー実施
- 11. 16 新学制30周年記念式典
- 11. 19 文化祭（～20）
- 2. 17 航空写真撮影

当時の学校周辺の様子



「濡標」に寄せて

九代校長 石川 博

中学生の非行や自殺があとをたたない中で、中学生同志の殺傷という血なまぐさい事件が報道され、こんなできごとはいつも遠いところで起きるものとはかり思っていた人々も、こんどはすぐお隣の豊田市の中学生三人が岡崎の旅館で心中を図るといふ異常なニュースを聞いたときは、全く信じられないことだ。暗い気持ちであった。しかし、今私の学校でそのような事件は起こらないと断言することはできない。

(中 略)

確かにその通りである。その対策はよくわかっているはずである。なのに再び起きないと断言はできない。このように教育すれば、必ずこのような子になると言い切れないところに教育の難しさがある。その教育の基礎が家庭教育にあることは誰しも認めることである。家庭教育の必要は感じながらも、いつ、なにを、どのようにしたらよいか、はつきりつかめない人たちが多いのではないか。子どもを叱る前に親の勉強不足も反省せねばならない。

長続きしないのが読書会の常であるが、三年間よく学習され四年目を迎えようとする皆様のご努力と、読書会を通して家庭教育の基礎を学習される心意気に頭がさがるのである。

(PTA読書クラブ「濡標」より)